

第四北越フィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会資料

2022年3月31日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

東京証券取引所 第1部 【証券コード：7327】
(2022年4月より 東京証券取引所 プライム市場)

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

	第四北越FGの概要	P. 2
	業績の概要	P.10
	中期経営計画	P.13
	サステナビリティへの取り組み	P.33
	資本政策・株主優待	P.38



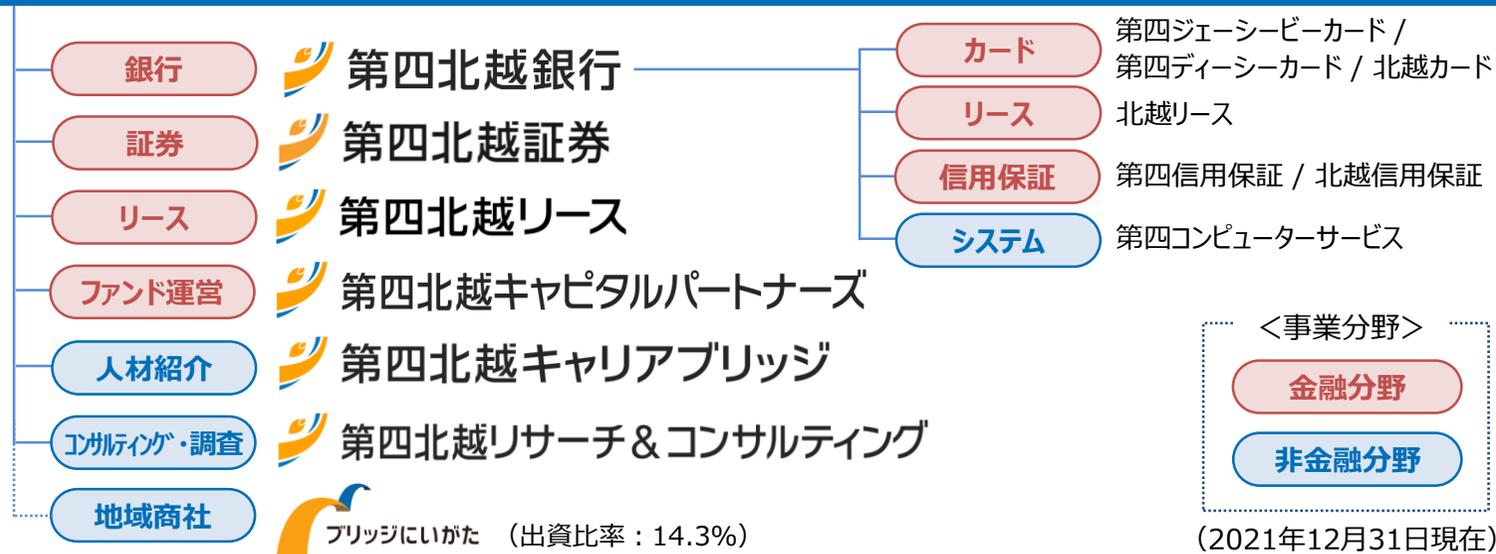
第四北越FGの概要

■ 銀行や証券に加え、人材紹介や地域商社などを有する新潟県内最大の金融・情報サービスグループ

【プロフィール】

DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

■ 商号	株式会社 第四北越フィナンシャルグループ
■ 本店所在地	新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
■ 代表者	代表取締役社長 殖栗 道郎
■ 設立	2018年10月1日
■ 資本金	300億円
■ 連結総資産	10兆4,062億円
■ 連結自己資本比率	10.53%
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 第一部（証券コード：7327）
■ 格付情報	(株)日本格付研究所（JCR）：A+（安定的）



お客さまへ

経営資源の活用やコンサルティング機能の強化による商品・サービスの拡充、利便性の向上

お客さま

地域社会へ

当社グループのノウハウやネットワークの活用・サステナビリティ経営の実践等による地域社会の発展への永続的な貢献

地域社会

第四北越フィナンシャルグループの経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして
みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます
変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します

…………… 行動の規範（プリンシプル）

…………… 使命（ミッション）

…………… あるべき姿・方向性（ビジョン）

経営統合効果による
当社グループの企業価値の向上

株主の皆さま

株主の皆さまへ

従業員

挑戦・活躍する場を広げることに
よる一人ひとりの働きがいの向上

従業員へ

第四北越フィナンシャルグループの目指す姿

金融・情報仲介機能の発揮による新たな価値の創造と、経営の効率化を進め、地域の発展に貢献し続けることで圧倒的に支持される金融・情報サービスグループ

総面積

12,583.96km² 全国**5**位

総人口

220万人 全国**15**位

県内総生産（名目）

9兆1,222億円 全国**16**位

産業・経済等

新潟県が全国**1**位の主な分野

- ✓ 米の産出額 1,501億円
- ✓ 米菓の出荷額 2,173億円
- ✓ 切餅・包装餅の出荷額 311億円
- ✓ 清酒製造免許場数 98場
- ✓ 水産練製品の出荷額 352億円
- ✓ 金属洋食器の出荷額 107億円
- ✓ 石油ストーブの出荷額 432億円
- ✓ ニット製セーター他の出荷額（男子） 18億円
（女子） 132億円
- ✓ 観賞用錦ごい養殖業経営体数 331経営体
- ✓ 原油の生産量 359,682kl
- ✓ 天然ガスの生産量 1,970,465千m³ etc

県庁所在地 新潟市

本州日本海側 **最大都市**
（唯一の政令指定都市）

新潟港

本州日本海側 **最大の物流拠点**
（明治元年に開港した歴史ある国際貿易港）

交通網の優位性

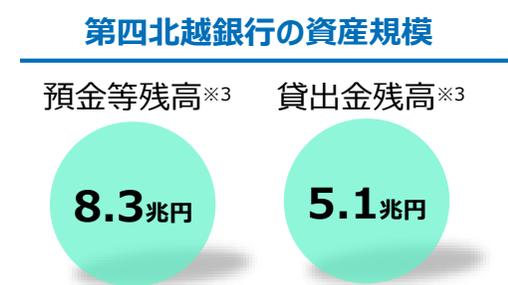
5方向に伸びる**高速道路**
（関越・北陸・上信越・磐越・日本海東北）

新幹線は上越・北陸の2路線

国内・国際線を有する新潟空港

出典：新潟県ホームページ
「新潟県の主要指標」「新潟県あれこれ全国ベスト5」
新潟市ホームページ
「新潟港の概要、港湾統計と港湾計画」

- 2018年10月、新潟県内に営業地盤を置く第四銀行と北越銀行の経営統合により誕生



※1:2021年12月末時点

※2:2021年12月末時点（地方銀行、第二地方銀行の各金融グループ、各銀行の連結数値による比較。各社公表資料等による当社試算）

※3:2021年12月末時点

預貯金シェア

貸出金シェア

第四北越銀行

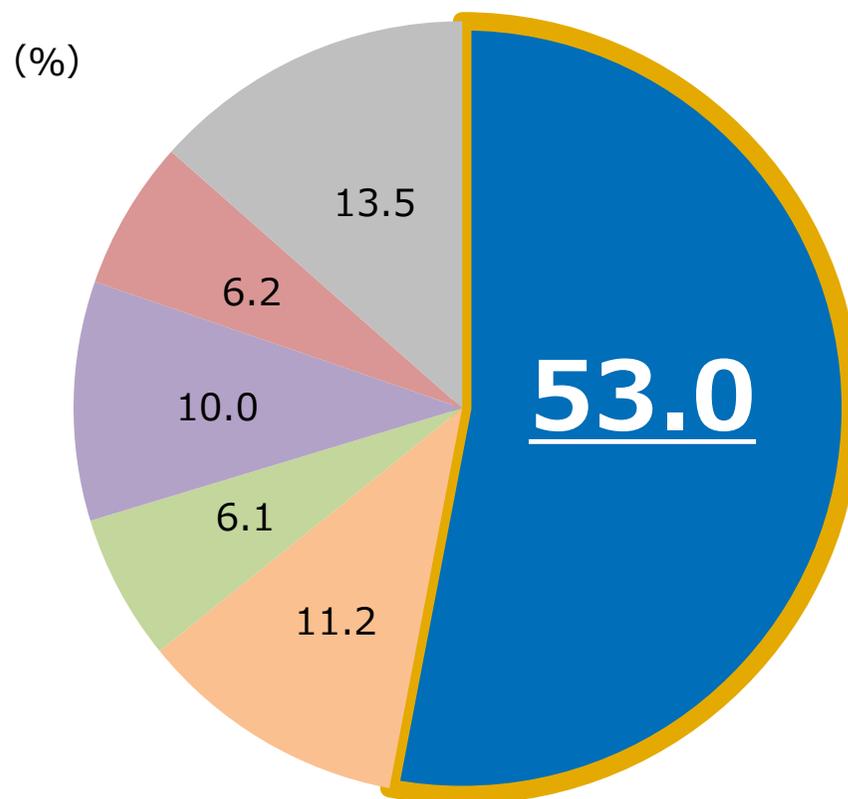
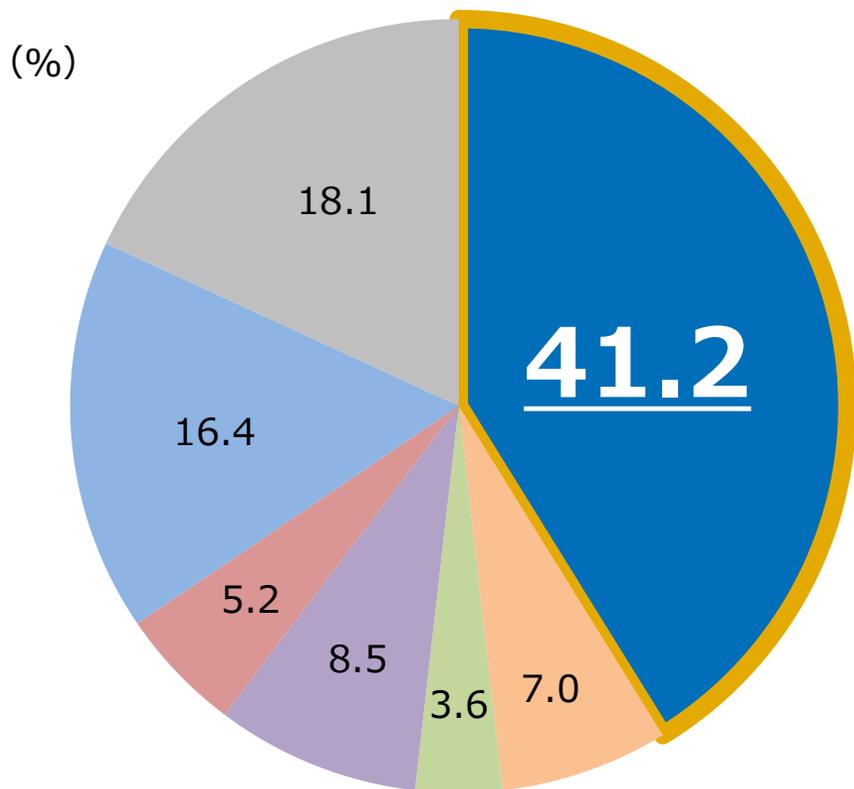
第四北越銀行

新潟県内シェア

No. 1

新潟県内シェア

No. 1



■ 第四北越 ■ 第二地銀 ■ 大手銀行 ■ 信用金庫 ■ 信用組合 ■ ゆうちょ銀行 ■ その他 (農協等)

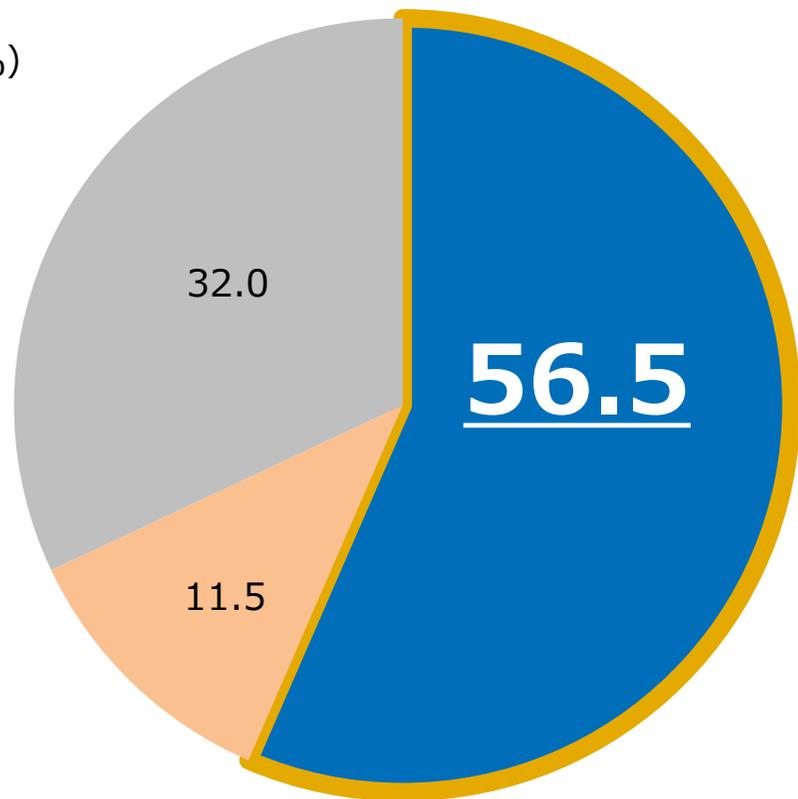
新潟県内企業のメインバンク動向調査

第四北越銀行

新潟県内シェア

No. 1

(%)



■ 第四北越 ■ 第二地銀 ■ その他 (信用金庫・信用組合等)

出典：帝国データバンク (2021年10月末)

全国企業のメインバンク動向調査

全国ではメガバンク等に次ぐ

第9位

地方銀行では
第5位

順位	金融機関	社数 (社)	シェア
1	三菱UFJ	96,511	6.64%
2	三井住友	77,437	5.33%
3	みずほ	62,291	4.28%
4	りそな	30,469	2.10%
5	北洋	23,895	1.64%
6	福岡	21,871	1.50%
7	千葉	21,124	1.45%
8	西日本シティ	20,563	1.41%
9	第四北越	17,993	1.24%
10	埼玉りそな	17,418	1.20%

出典：帝国データバンク (2021年10月末)

持続的な成長に向けた第四北越FGの取り組み

- ①「全国に先駆けた同一県内のシェア1位・2位の地方銀行による経営統合」と
- ②「TSUBASAアライアンスによる地方銀行の広域連携」という2つの経営戦術を同時に進行中
- 140有余年にわたるお客さまとの信頼関係を礎に、変化への挑戦と新たな価値の創造に取り組む

1 経営統合

140有余年にわたり
築上げてきた
お客さまとの信頼関係

 **第四銀行**



1873年 第四国立銀行創立

地域社会の発展のために
ともに切磋琢磨

 **ホクギン**
北越銀行



1878年 第六十九国立銀行創立

全国に先駆けた同一県内の
シェアNo.1・No.2の
地銀による経営統合

2018年10月



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

第四銀行と北越銀行の
経営統合により誕生

銀行合併・新銀行誕生

2021年1月



第四北越銀行
DAISHI HOKUETSU BANK

合併の成果をあげる
新たなステージへ

2 TSUBASAアライアンス

地方銀行の
広域連携の枠組み

2015年10月～



イノベーション加速のメインエンジン

目指す姿

圧倒的に支持される
金融・情報サービスグループ

金融・情報仲介機能の発揮
による新たな価値の創造



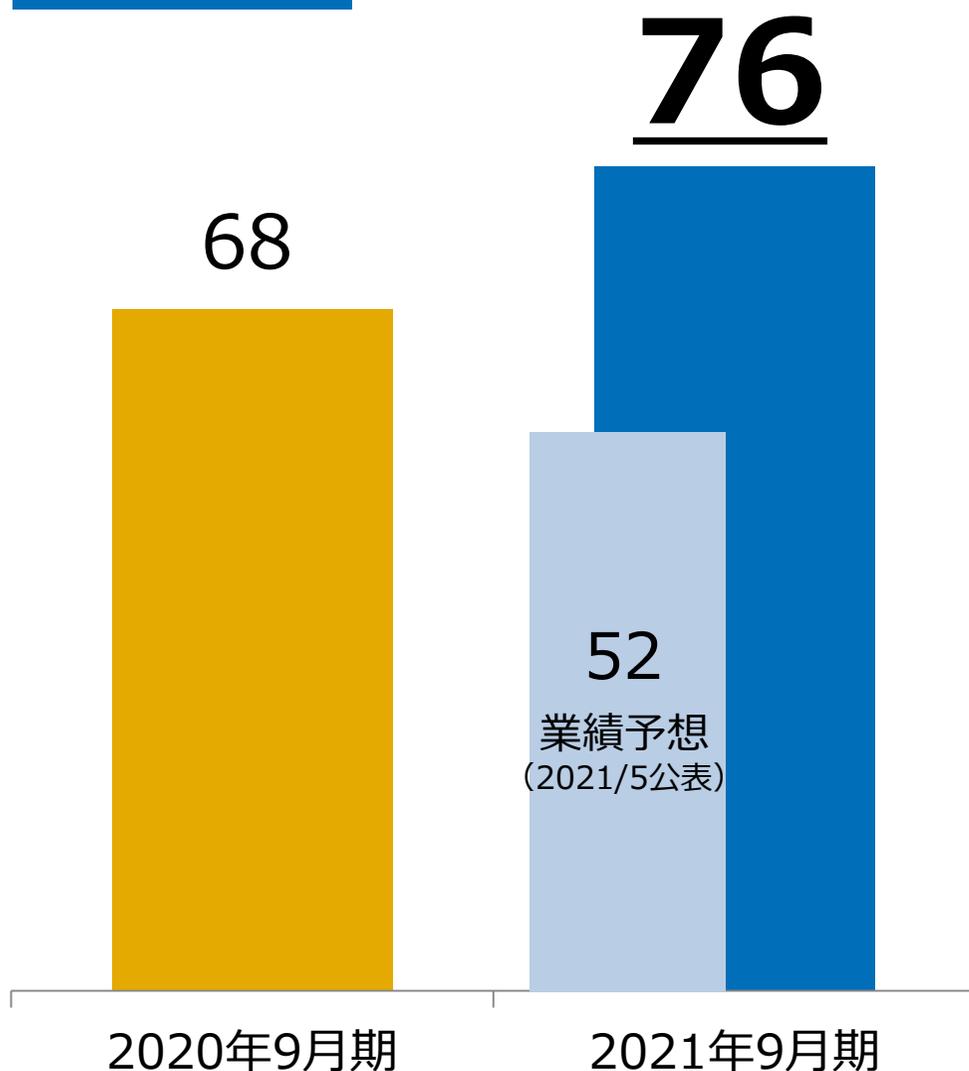
経営の効率化

地域の発展への
持続的な貢献



業績の概要

FG連結 (億円)



前年同期比

+ 8億円
(+ 11.9%)

業績予想比

+ 24億円
(+ 46.4%)

FG連結 (億円)

2022/1公表
上方修正

140

107

110

当初業績予想
(2021/5公表)

2021年3月期

2022年3月期

前年比

+32億円
(+29.6%)

当初業績予想比

+30億円
(+27.2%)



中期経営計画



第二次中期経営計画

銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2021年
4月

2024年
3月



最重要テーマ

シナジー効果の発揮

合併シナジー の最大化

ノウハウの共有
重複機能の整理
経営資源の再配分



グループシナジー の最大化

FGグループ会社機能の
最大限の活用



TSUBASA 連携シナジーの 最大化

地銀最大規模の
スケールメリットの活用



グループ経営資源の再配分を通じた営業力強化

重複機能の整理・ノウハウの共有に向けた取り組み



<3カ年計画>

人員創出合計

約**900**名

店舗統合

2年間で**50**拠点を統合

約**420**名を創出



本部スリム化

約**210**名を創出



営業店 業務改革

約**270**名を創出



合併シナジーの最大化

トップラインシナジー



コア業務等への再配置人員数

約**500**名

定年・自己都合退職及び
採用抑制等の自然減考慮
後の再配置人員数

- チャンネルの強化
- ノウハウの深化・拡充



コストシナジー



徹底したコスト管理、合理化・効率化

戦略人員増員によるコンサルティング機能の向上

営業店に常駐するコンサルティングスキルの高い本部専門人員

銀行合併前

30名

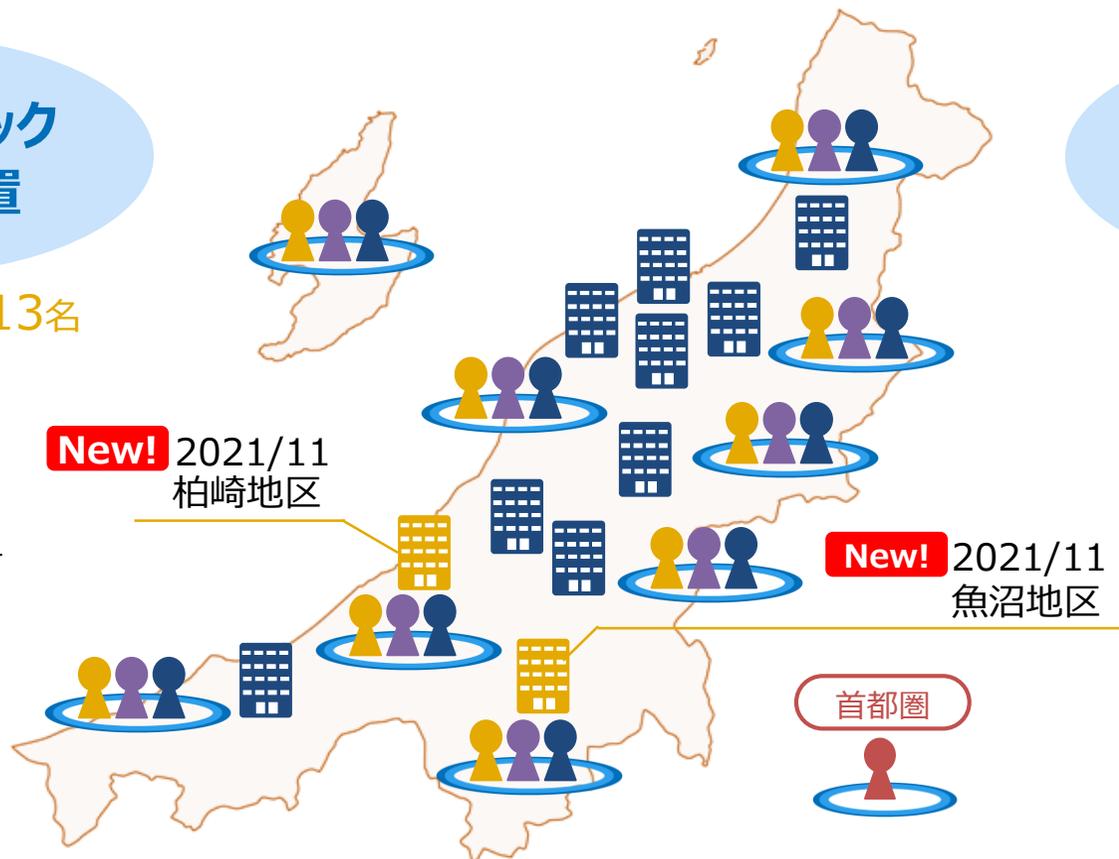
銀行合併後

70名

県内全ブロック
母店に配置

-  上級コンサルタント 13名
-  法人CM 20名
-  個人CM 32名
-  県外戦略 5名

CM : コンサルタントマネージャー



コンサルティングプラザ増設による お客さま利便性の向上・サービスの拡充

個人ローンの相談拠点：コンサルティングプラザの増設

銀行合併前

9 拠点

銀行合併後

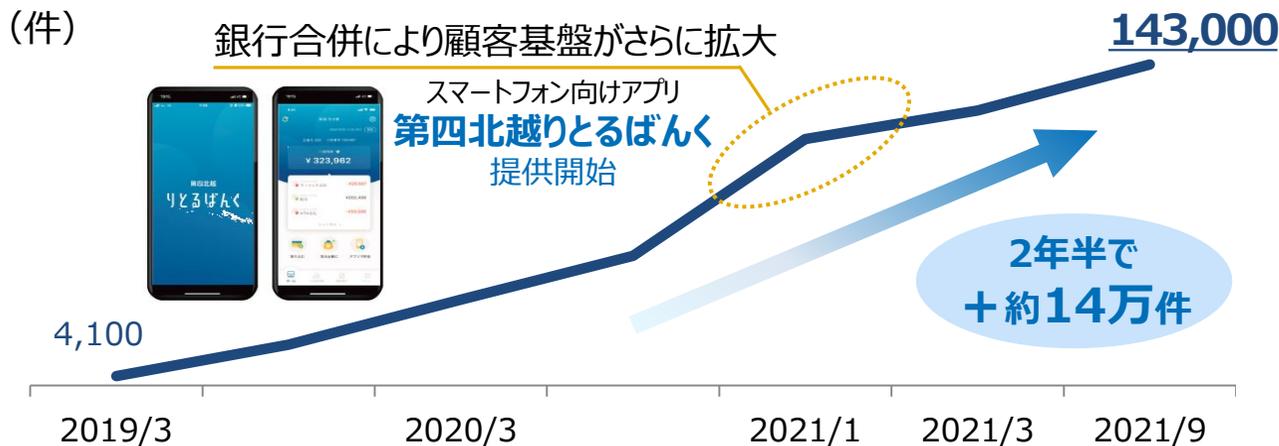
11 拠点

県内新築住宅
ローンマーケットの
9割をカバー

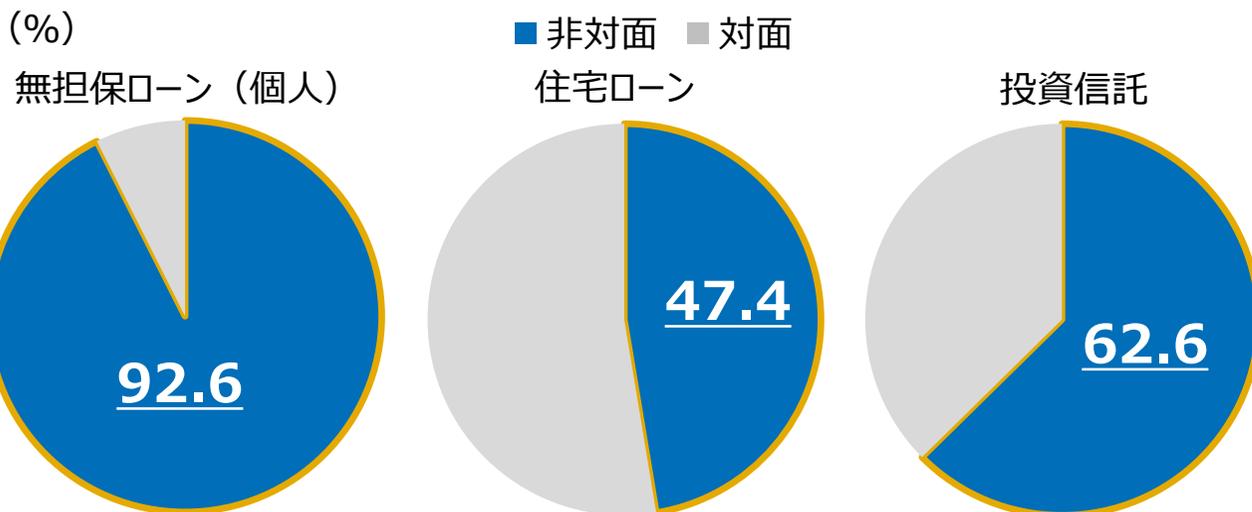
 コンサルティングプラザ

DXを通じたお客さま利便性の向上・営業の効率化

だいしほくえつID数（個人）の推移（概数）



非対面での申し込み割合（2021年度上半期）



非対面ビジネスの深化

専門人財によるコンサルティング

タブレット端末の
営業店への配置
(2021/4)



お客さまと本部担当者や
外部専門家等をつなぐなど
様々な用途で活用

お客さまとの接点増加

Web経由での
相談・面談・セミナー予約
(2021/9~)



お客さま向けセミナー
の予約方法を統一

お客さまの利便性向上

医療保険のWeb
申込スキーム導入
(2021/8)

来店
不要

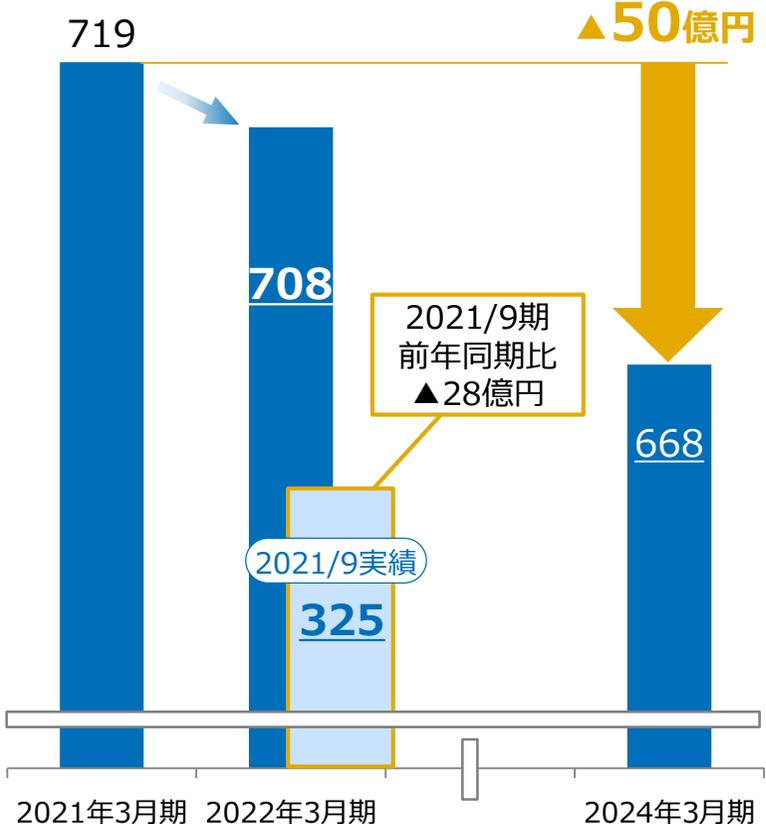
投資信託口座開設の
Web申込開始
(2021/11)

24時間
申込可能

合併シナジーの最大発揮・徹底したコスト管理・人員適正化

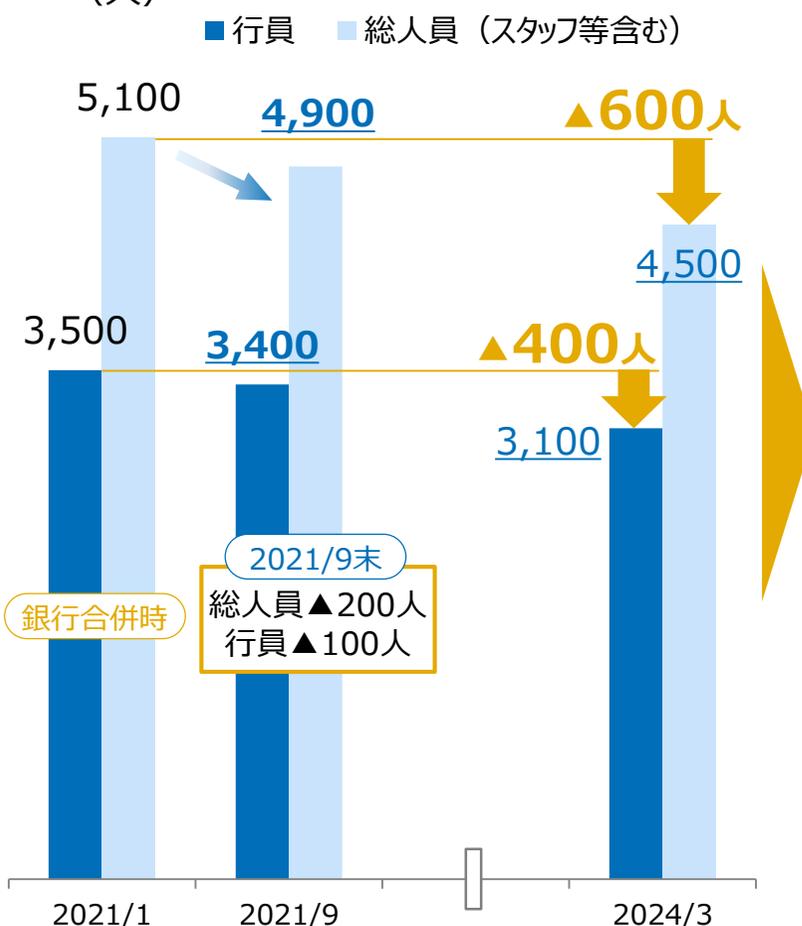
FG連結営業経費

(億円)



総人員の推移 (概数)

(人)



戦略的分野へ
投資

DX投資

顧客利便性向上

FG企業価値向上

戦略的分野へ
人員再配置

地域経済の
課題解決

金融・情報仲介
機能の発揮

グループ機能の最大限の活用

グループ各社の本業の深化

FGグループ会社の
再編等



グループ内連携の強化

FGグループ会社機能の
最大限の活用

グループシナジーの
最大化 

グループシナジー発揮に向けた取り組み

1 ガバナンスの強化

- FG全体の営業・地域創生の企画・推進を担う「FG地域創生部」の新設
- 銀行以外の子会社・子銀行子会社等の再編および事業推進の統括・支援を担う「FGグループ戦略推進部」の新設

2 戦略人員の配置

- 銀行における店舗統合・本部スリム化・営業店業務改革を通じたグループ経営資源の再配分の実施
- グループ会社に戦略人員
約**70名**を再配置

3 グループ再編

- 同業種のグループ会社再編による経営の効率化の実現

4 連携領域の拡大

- 証券連携
 - 銀証連携による富裕層ビジネスの強化
- リース連携
 - 銀行によるリース媒介の開始
- カード連携
 - 銀行と連携したキャッシュレス事業の強化

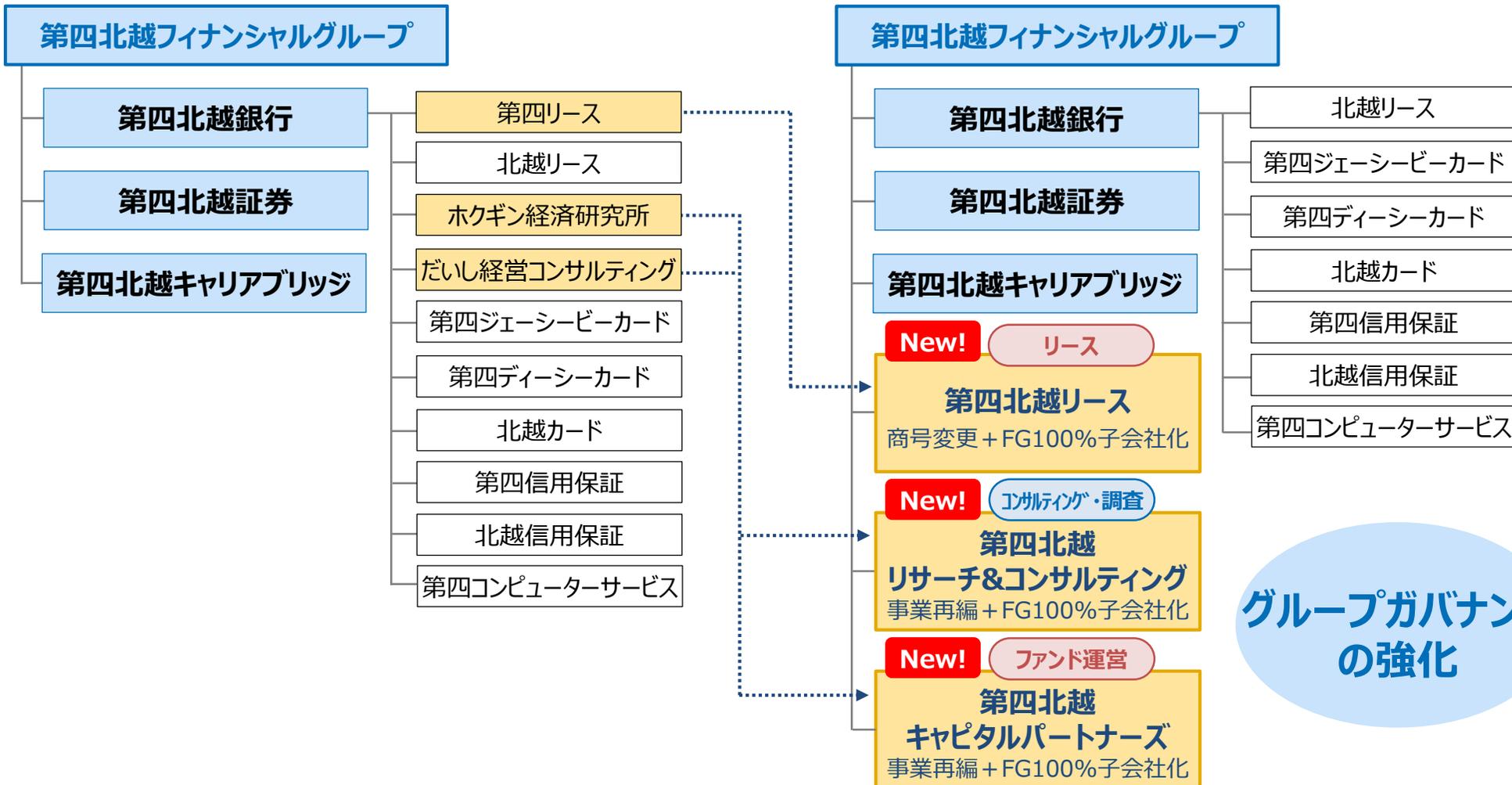
5 新事業領域の探索

- 地域商社
 - 販路開拓・観光振興・生産性向上支援の強化
- 人材紹介会社
 - 人材マッチングの強化
- 規制緩和への対応
 - 規制緩和を踏まえた新事業領域への参入（探索）

コンサルティング機能発揮に向けたグループ再編・事業領域の拡大

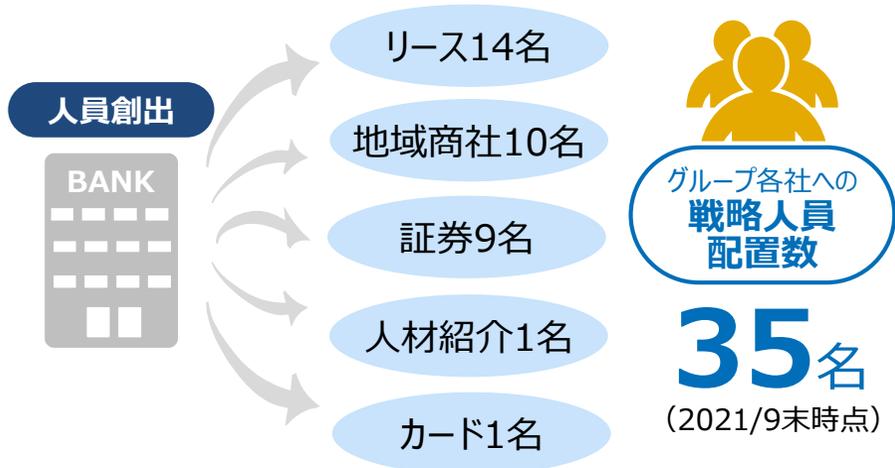
～2021/9

2021/10～



地域の課題解決に向けたグループ内連携の強化

グループ経営資源の再配分によるコンサルティング機能の向上



< 銀行と証券の共同店舗 >

グループ証券仲介収益[※]

前年同期比

約**2倍**

(百万円)

1,737

+789
+83.2%

948

2020年9月期

2021年9月期

※ 銀行部門とグループ会社部門の合計

地域商社「ブリッジにいがた」

販路開拓事業

アンテナショップ ブリッジにいがた

<店舗での取扱商材数>



【住所】東京都中央区日本橋室町1-6-5
だいし東京ビル1階



自社ECサイトの本格稼動

- 2021年度上期に県産品を紹介する**ECサイト**を本格稼動

観光振興事業

- 多言語翻訳ツールの提供
- 各種団体に対する観光振興策の提案・共同実施 等

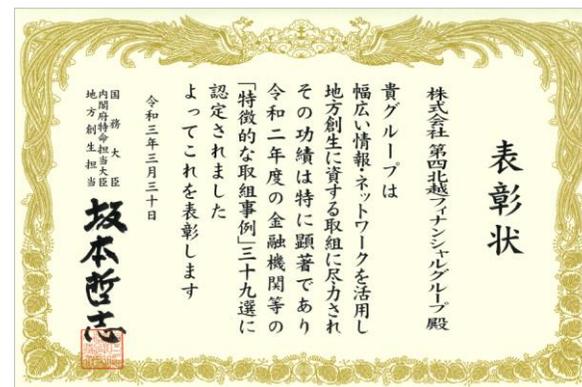
生産性向上事業

業務効率化コンサルティング・ITツール導入支援

- RPA導入支援
- ペーパーレス化支援
- 入金消込システム
- 勤怠管理システム導入支援 等

トピックス

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部による
『地方創生に資する「特徴的な取組事例」』
に認定（2021年）



人材紹介会社「第四北越キャリアブリッジ」

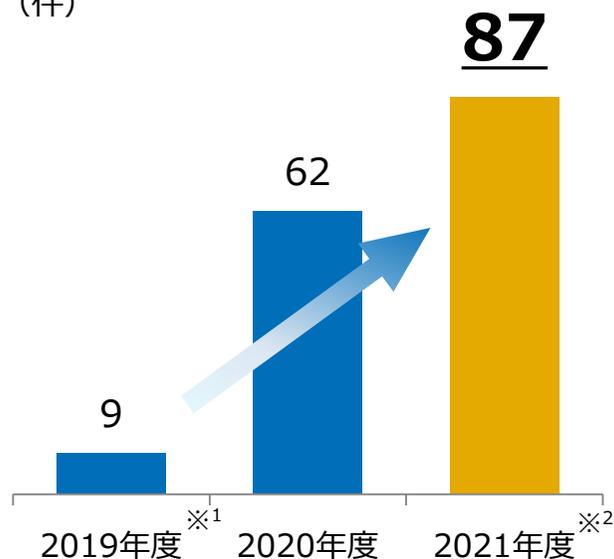
人材マッチング事業

- 人材紹介業務
- 人材マッチングサポート
- 兼業・副業人材マッチングサポート



＜決定（採用・内定）件数の推移＞

(件)



(2021/12時点)
決定件数は
前年実績を上回る

相談件数
累計1千件超

※¹ 2019/10～の6ヵ月間

※² 2021/12まで

人材育成ソリューション事業

- 県内企業の人材育成に向けたセミナーをFGグループ企業と共催で開催
- ニューノーマルに対応し、各種オンラインセミナーを開催

2021年度

第四北越フィナンシャルグループ

『人財』育成 サポートプログラムのご案内

組織力強化のための

階層別 8講座

目的別 9講座

うち、オンラインセミナー 10講座

をご用意

各階層・役割に必要な
ビジネスマインド
ビジネススキルの向上を目指します

シナジー効果の一例

- お取引先のあらゆる課題の解決に向けて、銀行が「ハブ」となり、グループの総力を挙げて、「タイムリー」で「最適な」サービスを「ワンストップ」でご提供してまいります

非金融分野

金融分野

人材紹介

経営幹部や専門人材を採用したい

地域商社

販路拡大したい・業務を効率化したい

システム

IT化を進め業務を効率化したい

コンサルティング・調査

経営戦略や事業計画を作りたい

銀行

ワンストップの
窓口は銀行

証券

株式やSDGsに関連した投資をしたい

リース

初期費用を抑えて設備を導入したい

カード

お店のキャッシュレス化を進めたい

ファンド運営

事業承継を進めたい・新事業を立ち上げたい

グループ連携

【経営課題】
人材を探している

凡例

— 第四北越FGの提供するサービス

— } 第四北越FG機能の利用例

地方銀行広域連携の枠組み



TSUBASA
ALLIANCE

参加行数

10行

(2021年9月末時点)

参加行の
総資産残高合計

90兆円超

(2021年9月期連結ベース)

第四北越銀行
連携施策によるシナジー効果
2015年10月～2021年9月まで
累計**65**億円

北洋銀行

第四北越銀行

滋賀銀行

中国銀行

琉球銀行

伊予銀行

すべてを地域のために
東邦銀行

群馬銀行

千葉銀行

武蔵野銀行

■ 本店所在地
■ 店舗所在地

“群馬・第四北越アライアンス”の締結 (2021年12月)

「地域への更なる貢献」と「企業価値の持続的向上」に向けた連携強化



GUNMA
DAISHI HOKUETSU
ALLIANCE

群馬・第四北越 アライアンス

主な連携施策 (検討中の施策を含む)

地域創生

- ✓ 隣接エリアを中心とした観光振興や地域活性化
- ✓ 両行のお客さま基盤を活用した金融サービスの提供 etc

経営資源の有効活用・強化

- ✓ 保有不動産・資産の共同利用・活用 etc

グループ事業での協業

- ✓ グループ会社機能の相互活用 etc

※総資産は2021年9月期連結ベース
第四北越銀行はFG連結ベース

－ 銀行合併と同時に新たな人事制度をスタート －

職員の能力伸長を促す新人事制度の導入

コンサルティング能力の向上に向けた視点



第四北越銀行 新人事制度の考え方

制度の基本方針

- ① 公正な評価
- ② 評価基準の明確化と成長支援
- ③ 多様な人財基盤の構築
- ④ 組織融和の促進
- ⑤ 人件費の適正化

コンサルティング能力
の発揮

多様なキャリア形成
・リモートワーク

成果と育成重視

多様性の尊重

エキスパート（専門人財役職）制度の新設

2021/10より
登用開始

個人営業4名、法人営業1名
戦略・マネジメント1名 合計6名



対象とする専門分野

個人営業

富裕層コンサルティング

法人営業

金融ソリューション・ファイナンス
事業承継・M&A、事業再生

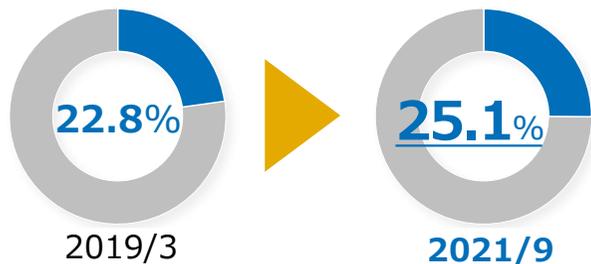
戦略・
マネジメント

市場運用、IT・システム
データ解析・マーケティング
リスク管理

－ ダイバーシティの取り組み －

女性活躍促進に向けた取り組み

女性管理職比率（代理級以上）の向上



女性行員の経営層・管理職層登用
に向けた育成プログラムの開始
(2021年11月)



「プラチナくるみん」・「えるぼし認定段階3」の取得



コンサルティング機能の発揮に向けた人財育成

合併・システム事務統合と並行して進めた
人財育成・コンサルティング能力の向上が着実に進展

第一次中期経営計画

マーケット別研修 × 営業担当者向け研修 × 営業店長向け研修 等

第二次中期経営計画

- ✓ コンサルティング能力の育成・強化
- ✓ グループシナジー発揮に向けた人財の強化
- ✓ 金融デジタル人財の育成

人財育成
投資額は
増加 ↗



ー若手職員を中心とした2030年のあるべき姿の実現に向けた検討プロジェクトー
「第四北越FG 新・構造改革2030プロジェクト」の実施
(2021年11月～2022年3月)



＜ワークショップの様子＞



参加した若手職員

のべ **30人**

「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」に認定

第四北越銀行



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

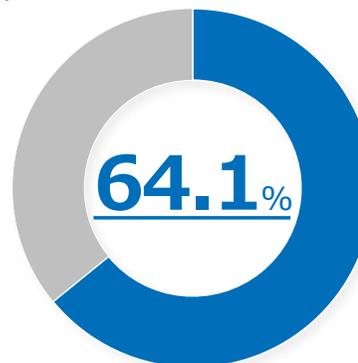
合併前からの通算

5年連続認定

→ 新潟県内企業では
当行のみ

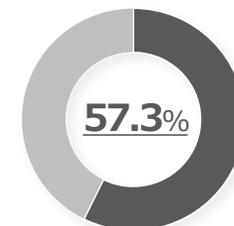
年次有給休暇の取得率

第四北越銀行



2021/3

金融業・保険業の
年次有給休暇の平均取得率



厚生労働省
令和3年
就労条件総合調査

意識統合・ベクトルの統一に向けた
経営陣と職員との対話

経営理念・中期経営計画の
浸透に向けた説明会

約**4,700**名が参加

役員との対話交流会

のべ約**200**会場

約**4,600**名が参加

管理職向け頭取説明会

のべ**7**回開催

約**350**名が参加

志を一つに
結ぶ



< FG社長による職員向け説明会の様子 >

シナジー効果の一例

経営統合により拡大した第四北越FGのノウハウ・ネットワークの最大限の活用

近隣店舗が連携したエリア一体営業



- 支店長連携の強化
- 渉外系の互換性を高めた営業

地域・お客さまへの効果

コンサルティング
機能の向上

FG内への効果

営業力強化
生産性向上

近隣エリアでのM&Aマッチングが増加!

第四北越FG

第四銀行 北越銀行

経営統合により拡大した
顧客・営業基盤を活用

取引先の企業価値向上
地元の雇用維持等
経済発展に貢献

- ✓ 有名店の後継者問題を解決
- ✓ 廃業の抑制 etc

M&A収益

(百万円)

前年同期比

約3倍

+337
+192.5%

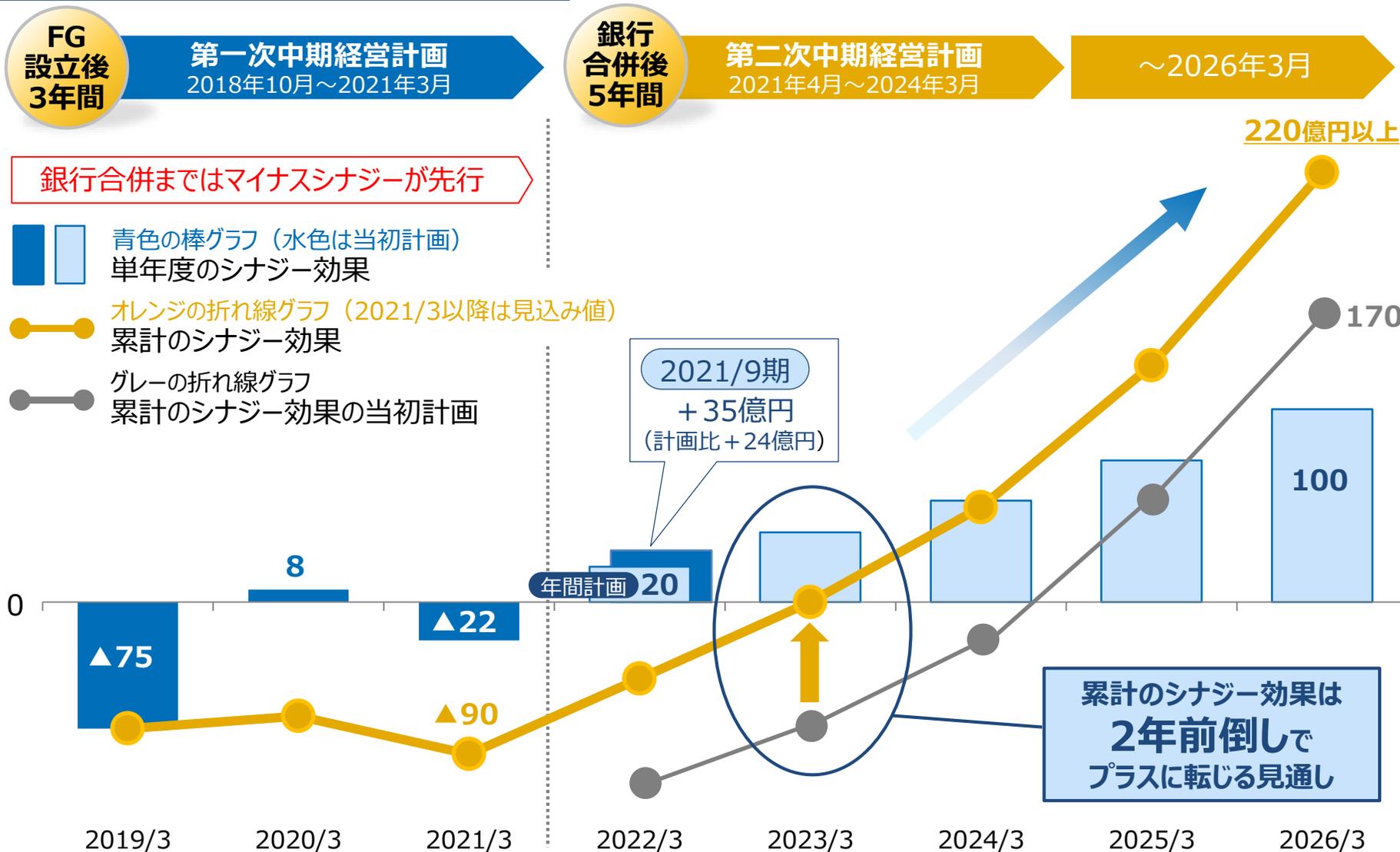
512

175

2020年9月期

2021年9月期

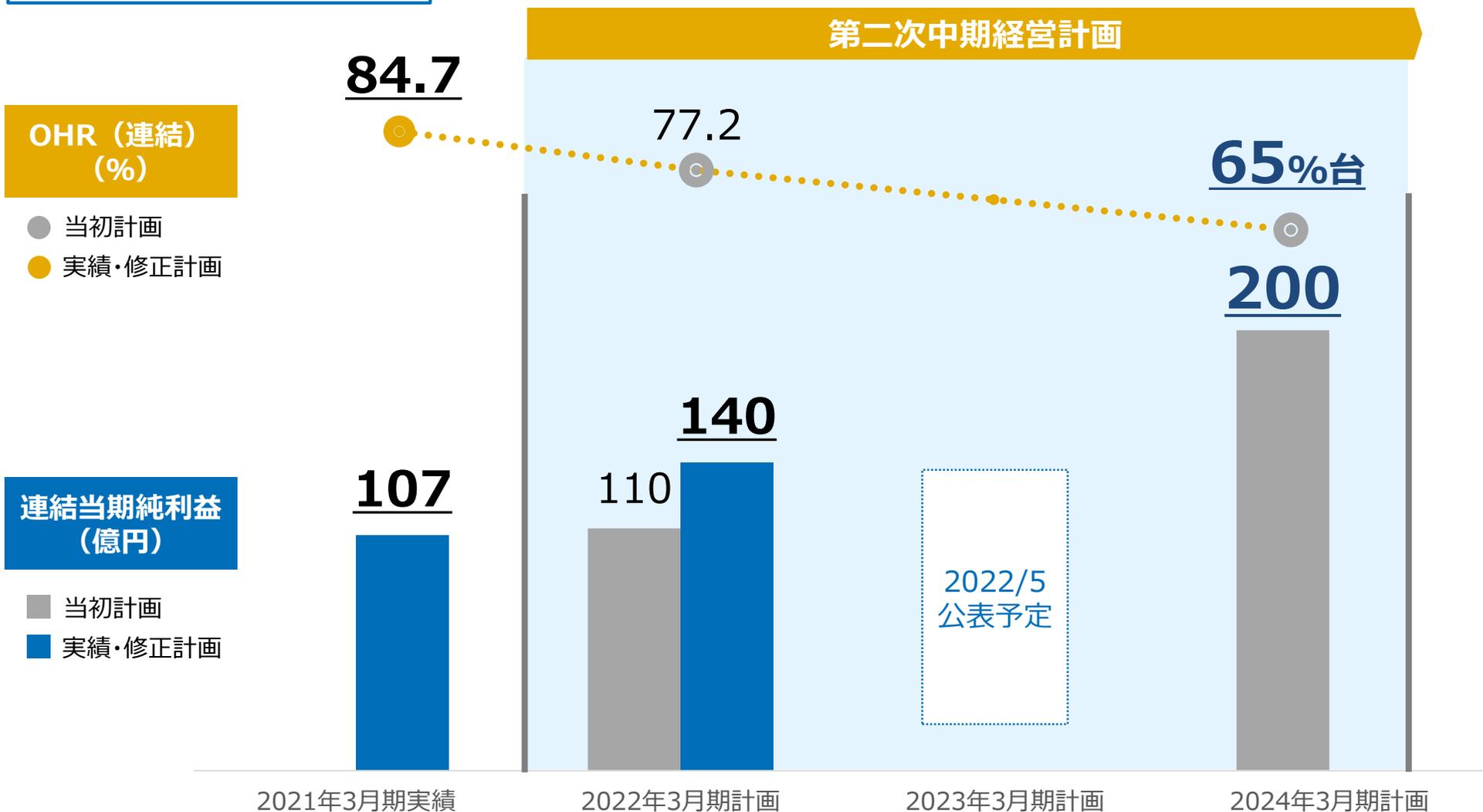
経営統合前の2017年度との比較



シナジー効果 (単位: 億円)

- 新潟県内最大の金融・情報サービスグループとして、地域創生とFGの持続的な成長の実現を目指す

主要経営指標 (KPI)





サステナビリティへの取り組み

- 第四北越FGの『サステナビリティ基本方針』に基づき、4つの重要課題に積極的かつ主体的に取り組む、持続可能な社会の実現に貢献する

FG経営理念

地域社会の発展に貢献し続ける

経営理念と方向性は同一

『第四北越フィナンシャルグループ サステナビリティ基本方針』

4つの重要課題

1

地域課題への
取り組み

2

環境問題への
取り組み

3

社会との
信頼関係の確立

4

人財育成と
職場環境の整備

地域・お客さまの
課題解決支援

グループ総合力を活かした
金融・情報仲介機能の
最大発揮

自社の取り組みを通じて得た
ノウハウ・知見を地域へ還元し
地域全体での取り組みをさらに推進

グループ一体となった
積極的かつ主体的な取り組み

FG自社による
CO2削減などの
サステナビリティへの
取り組み

サステナビリティ経営の実践

事業基盤である
環境・社会の維持・向上

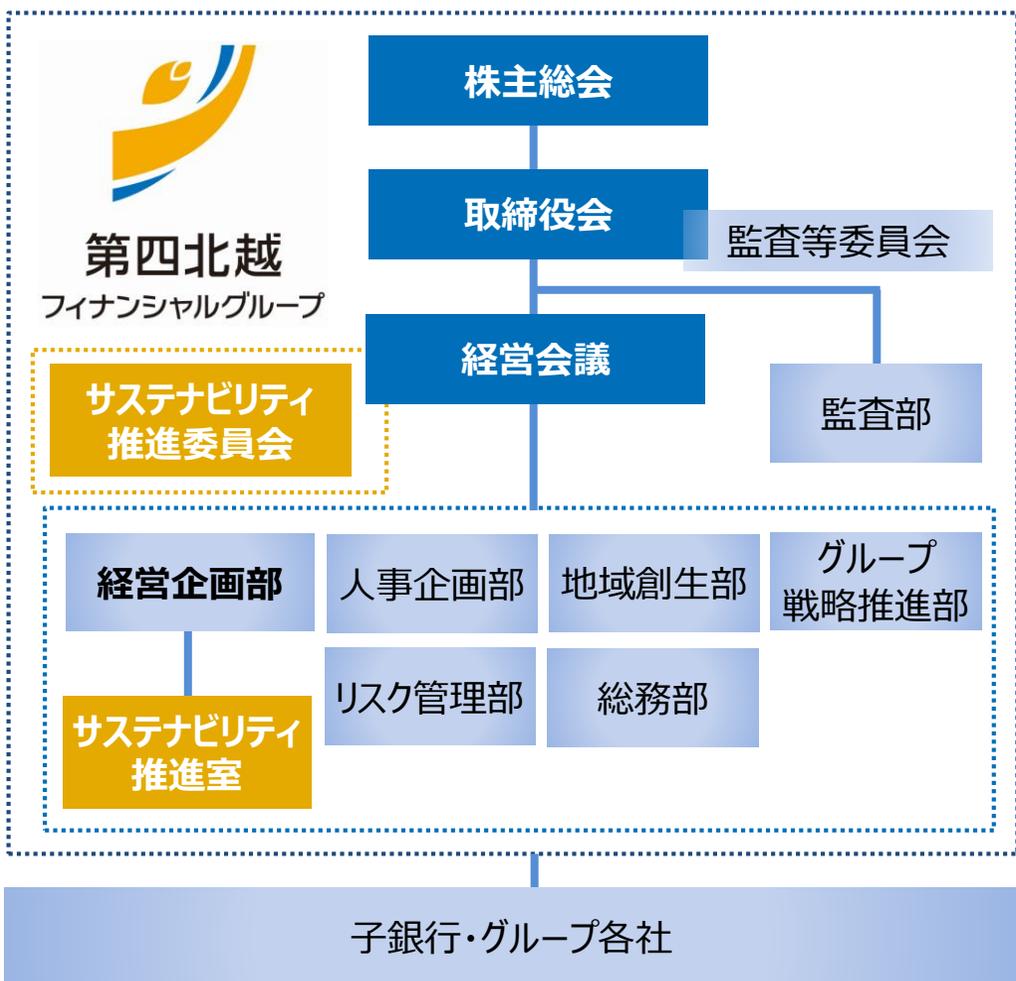
+

経済成長・企業活動の
持続的な成長

グループ一体での推進に向けたガバナンスの強化



- FG社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」の設置
- 組織横断的な取り組みを統括する「サステナビリティ推進室」の設置



「TCFD提言」への賛同表明

(気候関連財務情報開示タスクフォース)

賛同表明日

2021年4月15日

賛同する意義

リスク管理態勢の
高度化

地域の
持続的成長の
サポート

企業価値の
向上

環境省に採択されたFGの3事業 (2021年度)

第四北越銀行

- 環境省「TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析パイロットプログラム支援事業」の参加金融機関として採択

第四北越銀行 × TSUBASA ALLIANCE

- 当行・千葉銀行・北洋銀行の3行共同で環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択

第四北越リース

- 環境省「ESGリース促進事業」の指定リース事業者として採択



「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」および「サステナビリティ・ファイナンス」の取り扱い開始 (2021年8月)

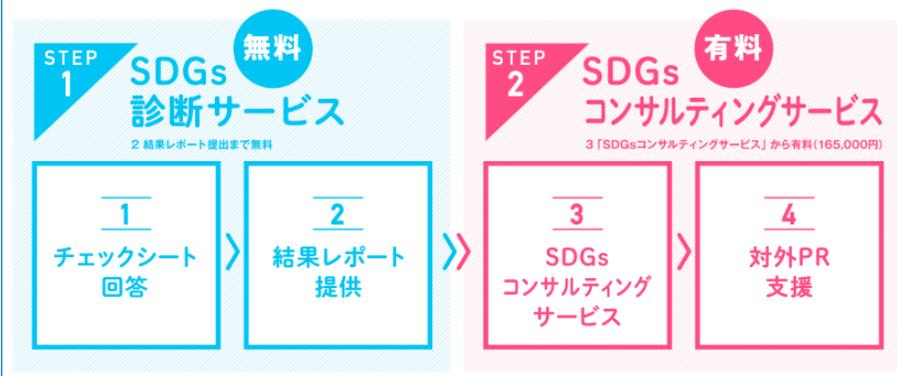


再生可能エネルギー事業向けプロジェクトファイナンスの取り組み

新潟県北蒲原郡聖籠町
バイオマス発電事業向けプロジェクトファイナンスの取り組み
(2021年8月) ※商業運転開始は2024年10月予定

新潟県阿賀野市
大規模メガソーラー事業向けプロジェクトファイナンス取組先の
商業運転開始 (2021年11月)

「第四北越SDGsコンサルティングサービス」の取り扱い開始 (2021年9月)





DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

にいがた食のきずなプロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化するなか、食品を必要としている世帯への支援を目的に、当社および当社グループ会社が始めたプロジェクト

第1弾

—新型コロナウイルスの影響を受けている団体などをご支援—
寄付型私募債「SDGs私募債」の取り扱い

第2弾

新型コロナウイルスの影響を受けている世帯への
食品寄付の取り組み

『食のきずな』応援私募債 (2020年11月～2021年6月)

ご発行企業数 **116社**

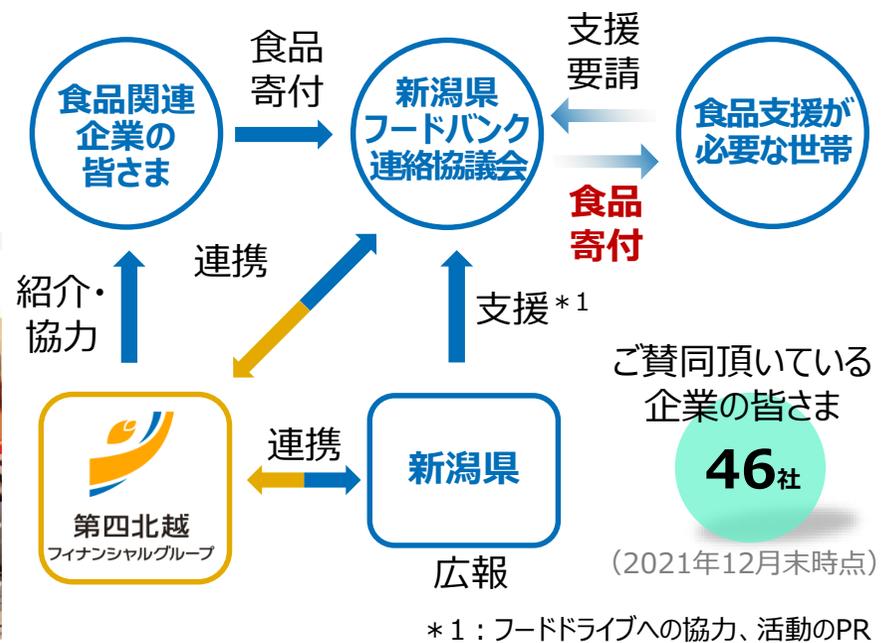


『食・職のきずな』応援私募債 (2021年7月～2022年6月)

ご発行企業数 **52社**



寄付額の累計約 **14**百万円





資本政策・株主優待

株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、
収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、
安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

- 配当金と自己株式取得合計の**株主還元率40%を目処**といたします。
- 当期純利益の増強を基本として、ROE向上に取り組んでいく方針であり、中長期的に5%以上を目指します。

2022年3月期 配当金予想



これまでの株主還元の実績

	1株当たり 配当額(年額)	配当性向	株主還元率
2019/3期	期末 60円 中間 第四銀行 45円 北越銀行 30円	35.0%	※ ¹ 42.0%
2020/3期	120円	42.5%	42.5%
2021/3期	120円	50.7%	50.7%

※1：両行の連結当期純利益の合算値を分母として算出。2019年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額999,689,000円）

投資魅力の向上と長期間保有していただくことを目的とした“株主優待制度”

対象の株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株（1単元）以上の株式を継続して1年以上保有（毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記録）する株主さま

<保有株式数>

<優待品の金額>

100株以上1,000株未満

2,500円相当

1,000株以上

6,000円相当

制度内容

以下の2コースのいずれかより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます

1

第四北越フィナンシャルグループ 独自
新潟県の特産品・各種寄付コース



※写真はイメージです。

2

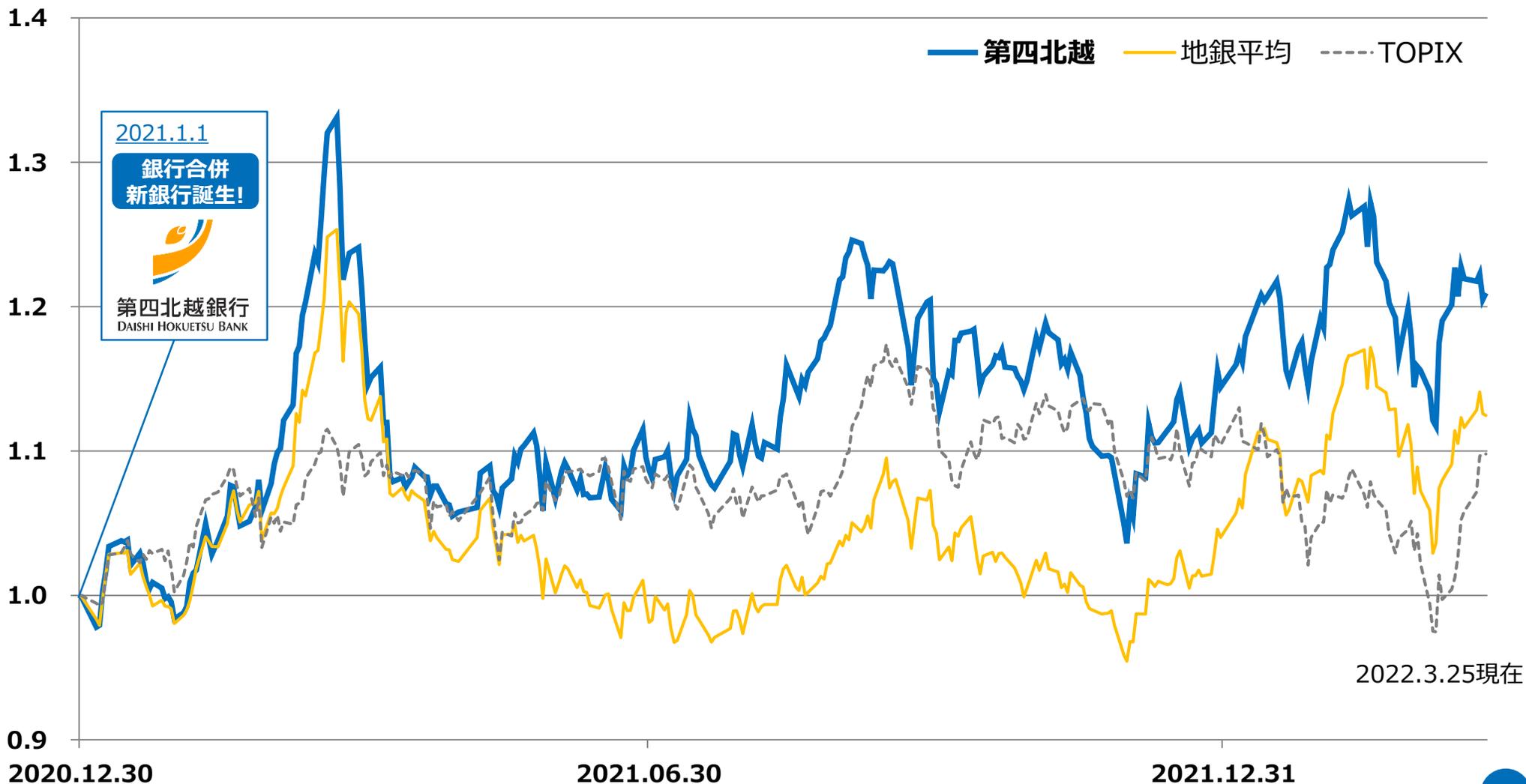
TSUBASA ALLIANCE TSUBASAアライアンス 共同企画
TSUBASAアライアンス
参加各行の地元の特産品コース



※写真はイメージです。

■ 新銀行誕生後からの株価推移では、地銀平均・TOPIXを上回る水準で推移

【当社株価比較】(2020.12.30=1.0)





DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。